

いちえいの 市議会通信

第5号

発行者 阿賀野市議会議員 天野 市榮（いちえい）
事務所 阿賀野市若葉町四番十九号
連絡先 電話（ファクス）〇二五〇（六二）七〇九五



市民ファースト！
市民目線の市政を実現します。

第五号では令和四年九月
定例会一般質問の概要に
ついてお知らせします。

令和四年九月定例会



一 参議院選挙に係る瓢湖市営駐 車場の無断使用について

（質問）先の参議院選挙新潟選挙区において、自民党公認で立候補した小林一大氏（現参議院議員）の街頭演説が七月五日正午、瓢湖市営駐車場内（白鳥会館前の駐車場）で行われた。この件について公園管理事務所及び商工観光課に問い合わせたところ、無断で使用していたことが判明した。当日は小林候補の街宣車が市営駐車場に乗り入れ、百人を超える支援者の前で、地元選出の帆苺県議が司会役を務め、候補者本人の演説のほか、田中市長、斎藤洋明衆議院議員、市議会議員などによる応援演説が行われた。当日の市営駐車場は、選挙関係者や支援者などにより、駐車場の半分近くが占拠されていた。買い物をするために駐車場に入ろうとした私の車は入り口付近で待機していた選挙スタッフに呼び止められ、用務の有無を聞かれた。この街頭演説の案内文（七月一日付け文書）は阿賀野市建設業協会から同日、加盟事業所に一斉ファクスで送信されていた。この案内文の発信者には「足立敏之 阿賀野後援会長 田中清善」と「顧問 帆苺謙治」と連名で記載されていた。市営駐車場が自民党候補者の陣営によって無断使用されていたことについて、市長の見解を伺う。

（答弁）瓢湖市営駐車場については、市民の皆様をはじめ、広く使用してもらっている。他の使用者に迷惑とならない短時間の使用の場合には申請の必要がないので、無断使用には当たらない。

（質問）根拠規定はあるのか。

（答弁）本件は行政財産の目的外使用になるが、使用料が発生しないので申請の必要はない。

（質問）他の使用者に迷惑にならない短時間の使用であれば問題ないというが、白鳥会館（民間施設）内の店舗に買い物に行った私のような一般利用者には迷惑な集会であった。私の車が駐車場に入ろうとしたら、水色のTシャツを着ていた選挙スタッフに呼び止められ用務の有無を聞かれた。「店舗に買物に行く」と言ったら「どうぞ」と言って通された。店舗に入ったら私以外に客は誰もいなかった。ふだん停車しているはずの新潟交通観光の定期バスもなかった。駐車場には選挙関係者と演説を聞くために集まった支援者しかいなかった。短時間といえども一般の使用が妨げられたことは事実。警察に被害届を出すべきではないか。

（答弁）なし。（必要ない。）

（質問）小林候補の街頭演説の案内文書の発信者欄には田中市長と帆苺県議の名前が掲載されているが、この街頭演説会は、田中市長と帆苺県議が主催した集会と理解してよろしいか。

（答弁）名義貸しだが自分の名前が使われたことは承知している。

（質問）小林候補は九日に新潟市秋葉区の文化会館（屋外）で街頭演説をやっている。陣営から同会館の使用申請が提出され、同会館の指定管理者が秋葉区役所と綿密な協議を行った上で許可し使用料を徴収している。秋葉区文化会館での集会と比べると規模は小さいが、市営駐車場が一時的に占拠されたこと

は事実。主催者に嚴重に抗議すべきではないか。田中市長が小林候補の応援弁士だから（無断で使用しても）大丈夫だという話にはならないと思うが。

（答弁）公園駐車場での短時間の利用なので特段問題はない。

（質問）平成二十八年四月の市長選挙の時、田中市長の出陣式が瓢湖市営駐車場で行われている。国会議員、県議会議員、市議会議員、周辺市町村長などのお歴々方が駐車場に集まって出陣式が盛大に行われた様子がユーチューブで流れていた。この集会も許可とか届出もしないで行われていたようだが本当か。

（答弁）出陣式の手続きは事務局の方でやっていたので承知していない。

二 県事業要望会について

（質問）毎年八月に行われている県事業要望会は、県土木部及び農地部の所管事業について、地元県議や新発田地域振興局の土木・農地の関係部署（地域整備部、農村整備部）の幹部職員を招集して行う市主催の会議であるが、次の点について伺う。①記録的な大雨（※県北豪雨）による災害が危惧される中、要望会を開催した理由並びに開催に至った経緯について、②毎年新設要望している（仮称）県道水原笹岡線（土橋から山崎までの間延長五キロの区間）を整備する意義、県においてどのような段階にあると認識しているのか、③水原バイパスの部分開通に伴いバイパスと交差し、今後交通量の増加が予想される国道四六〇号について、安野小学校前の歩道（通学路）の改良や安野町地内の国道四十九号に接続する箇所にある変則的な交差点（五差路）改良についての市としての認識を伺う。
※県の本庁や関係地域機関に災害対策本部が設置された。新発田地域振興局は四日午前八時三十分に設置。新発田市と胎内市では三日に設置。阿賀野市

消防本部は村上市消防本部からの要請を受けて救助隊が四日早朝に出動。四日の気象情報は、県北地域の市町村を中心に大雨特別警報、大雨警報、洪水警報が発令され、浸水害、土砂災害発生が危惧されていた。このような中で、県事業要望会並びに県事業建設促進懇談会が市役所や村杉温泉で行われた。

(答弁) ①八月四日早朝の時点では、中止の方向で検討したが当市において被害がなかったこと、県から出席が可能との回答があり開催した。道路や河川、農地に関する地元の要望を基に県の幹部職員に現地を視察いただき事業の実施によって課題解決に結びつける非常に重要な会議であると認識している。

②(仮称)水原笹岡線は新市建設計画において市内を十五分で結ぶ交通網を目指して計画されたもの。③通学路の安全性を高めるための歩道改良やスムーズな車両の通行を促す安野町地内五差路の交差点改良は重要であると考えており、これまでの経緯や地元の意見などを踏まえ県に要望していく。

(質問) 新発田市や胎内市では毎年七月頃に県土木部各課から照会がある。年度別の県単事業要望から幾つか絞ってそれを要望書という形にして市長が単独で、また地元の県議と一緒に新発田地域振興局に出向いている。これが普通のやり方だ。当市の要望活動は要望をする側(市)が要望される側(県)を招集して行っているが、要望を受ける側の立場からすれば何様のつもりですかと思うのが、今年の三月まで新発田地域振興局地域整備部に在籍していた産業建設部長に伺いたい。

(答弁) 各地域整備部においても、地域から要望があればその地域に出向いて要望会を行っている。

(質問) 当初、市は県に対し中止を申し入れたが県から規模を縮小してもよいからやったらどうかという打診を受けたという話を聞いている。新発田地域振興局内で災害対策本部も設置されている中で県の対応としては考えにくい。市は県の誰に中止を申し入れたのか。

県の誰からやったらどうかという打診を受けたのか。

(答弁) 開催について市から県に打診したところ、規模を縮小した形であれば参加できるとの回答だった。

(質問) 令和元年度の県事業要望会の資料を見ると、要望会の日程調整を帆糸県議と盛んにやっているが、今回も県議と日程調整を行っているのか。

(答弁) 県議とは連絡を密に取っている。(質問) 県議が出席しないと要望会は成立しないのか。

(答弁) 当初から県議の出席を前提に計画を立てている。

(質問) 今回の要望会を延期することもできたはずだ。当市においても今後災害が発生するかもしれないという中で実施された。市民からすれば「何をやっているんだ!」だと思われる。しかも村杉温泉で懇親会もやっている。

懇親会には県議、新発田地域振興局地域整備部及び農村整備部の幹部職員、市長はじめ市の職員、市議会議員、土地改良区理事長、農業委員会会長、農業協同組合常務理事など(※)が出席している。今後、農業用施設、農地や農作物の被害が出るかもしれない中で、お酒を酌み交わしているというのは、まるっきり危機感がないのかなと思っ

ている。村杉温泉を含め周辺は土砂災害の危険区域(奥は特別警戒区域)に入っているのではないか。

※懇親会には阿賀野市建設業協会の役員も出席。

(答弁) 危険区域に入っている。

(質問) 新設要望で挙がっている水原笹岡線は水原バイパスの土橋インターチェンジから笹神方面に延びる県道構想だが、合併後十八年が経過し人口がどんどん減っている現状で、「新市建設計画に載っている」からやるという視点ではなく、「必要かどうか」という視点が大事だ。自民党参議院議員の佐藤信秋氏が「インフラ(道路整備)は手段であって最終目的ではない」とマスコミの取材で述べている。全くその通りだ。道路整備によってどういう地域振興、まちづくりを考えるかが重要だ。先に

開通した安田バイパスにより安田地区の市街地を通る旧四十九号の交通量が激減したように、水原バイパスが全線開通すれば、県道に移管される下黒瀬から水原方面に向かう現四十九号の交通量は少なくなる。四十九号から瓢湖を経由して五頭温泉郷に伸びる県道「水原出湯線」を使えば、笹神地区へのアクセスは容易だ。水原バイパスから遠い笹神地区に向けて県道をわざわざ新設するという発想は、佐藤信秋氏の言葉を借りれば「目的」化していると思われるがどうか。

(答弁) 県道新設は五頭山麓の観光ゾーンにつながるという目的がある。

(質問) 国道四六〇号について、安野小学校前の歩道改良、安野町地内の交差点改良、中ノ通の歩道設置が要望個所に入っていない。必要などころから優先して要望すべきではないか。要望個所の中に月崎・関屋間の路肩確保が挙げられているが、以前は前山小学校の通学路としての要望を挙げていたと記憶しているが、その後前山小学校は閉校になった。どういう理由で挙げたのか。

(答弁) 歩道・道路改良については必要な個所を要望していくべきと考えている。月崎・関屋間の路肩幅は冬季の降雪時に大型車の通行を確保するために要望している。

三 旧統一教会(現世界平和統一家庭連合)との関わりについて(省略)

